

児童発達支援「キッズすてっぷさせば」評価結果

改善内容・改善目標

公表:令和 元 年11月30日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか ・室内の部屋の構造上、できる範囲で必要に応じてパーティションなどの仕切りや、スペースの確保は今後の課題。
	2	職員の配置数は適切であるか ・人員確保していく事は、今後障害福祉施設においては大きな課題である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか ・滑り止めなどの工夫はしているが、建物上階段にはなっているが、バリアフリーではない為、今後は建物などの検討は必要になってくる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか ・今後も支援に携わるスタッフ間での、実態把握、行動観察などをもとに、指導や支援の方針検討や実践、評価、改善などは必要。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか ・今後も年に1度の評価表は行っていきながら、事業所の中でも振り返りを行っていきたいと考える。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか ・今後も年に1度の評価表は行っていきながら、事業所の中でも振り返りを行っていきたいと考える。また、ホームページの公表を行っていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか ・今後他事業所間などの状況を情報収集しながら、取り入れていきたいと考える。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか ・経験年数などを踏まえた研修などは随時参加している。今後は大学の先生やドクターからの専門的な講習などを受けられるようにしていく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか ・保護者さんとお話しながら、どのような形でモニタリングアセスメントを行っていくか検討していきながら進めていきたいと考える。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

適切な支援提供

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	・細かい部分が反映されていないように捉えがちなどで、様式などを今後検討していく必要はある。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	・記録を記入していく上でできているかどうかかわかるので、もしできていなければ、次回どうしたら良いかわかる。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・今後もスタッフ全体の提案や工夫など取り入れながら、活気ある活動に繋がっていくと良い。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・月案を大まかに決めながら進めている。利用者さん達が色々な活動、体験できるような工夫をしていきたい。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	・個々の特性に合わせての支援を取り入れるようにしている。今後も検討しながら進めていきたい。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・朝礼、昼礼を必ず行っている。今後も行っていきながら、支援の内容や役割分担などを検討していきたい。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・支援終了後もそれぞれの気づきなどの連絡は行っている。できない場合は翌朝の朝礼でしっかりとミーティングを行っている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	・個別記録の記入は行っている。個別支援計画に沿っての記入ができるように、個別支援計画を全員で把握できるようにしている。今後も方法などは検討していきながら進めていきたい。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	・今後も必要に応じて行っていきながら、家庭との連携などもしっかりととれるようにしていきたい。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・支援するスタッフを育てるといった点では、児発管以外のスタッフの参加なども検討していく必要はある。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	・必要に応じて今後も連携をとっていきたい。
23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	・実際に該当者はいないが、今後事業所全体の課題であるように感じる。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	・実際に該当者はいないが、今後事業所全体の課題であるように感じる。
	25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	・今後はしっかりと連携をとっていく事を積極的に行いたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	・今後はしっかりと連携をとっていく事を積極的に行いたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・公共の場への外出などは取り入れている。必要に応じて保育所等の交流なども必要に感じる。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・今後も保護者さんへの伝達などを行いながら、子どもの発達状況についての課題など共通理解できると良い。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	・ペアレントメンター方との交流、講習などの機会を今後は提供していけると良い。
保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・今後も契約時には説明を行っていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	・細かい部分が反映されていない部分もある為、必要に応じて検討していく必要はある。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・必要に応じて今後も行っていきたい。また、相談しやすい場の提供も今後は必要に感じる。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・親子遠足などの行事の計画は行っている。今後も保護者様同士の繋がりなどがもてる場を提供していけると良い。

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・おたより、HPなどを活用しながら、利用者さんの様子などを今後もお伝えしていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・必要に応じて視覚支援を取り入れながら、分かりやすいような伝え方に心がけていきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・今後の課題である。
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・年に2回は実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	・処方箋などの詳細は連絡頂いている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・必要に応じて行っていきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・記入後見直しを行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・全員が参加できるように、外部研修に参加するようにしている。 ・事業所内の研修も虐待をテーマに行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	・該当者はいないが、方法などはしっかりと把握しながら進めていく。